

# 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	599,641,399	流動負債	177,422,109
現金預金	195,761,936	工事未払金	78,010,714
完成工事未収入金	121,682,692	未払金	1,218,848
未成工事支出金	28,897,566	未払費用	7,245,610
未収入金	58,575,672	未成工事受入金	2,992,154
親会社預け金	180,000,000	預り金	3,591,608
前払費用	511,312	1年以内支払リース債務	10,230,415
立替金	12,228,423	未払法人税等	27,848,900
仮払金	1,859,400	未払消費税等	31,390,500
その他流動資産	124,398	賞与引当金	14,893,360
固定資産	113,223,186	固定負債	28,484,868
有形固定資産	103,088,353	リース債務	28,484,868
建物及び構築物	4,682,102		
工具器具・備品	531,235	負債合計	205,906,977
土地	63,965,813	純資産の部	
リース資産	33,909,203	株主資本	506,957,608
無形固定資産	520,601	資本金	20,000,000
ソフトウェア	375,001	利益剰余金	486,957,608
電話加入権	145,600	利益準備金	5,000,000
投資その他の資産	9,614,232	その他利益剰余金	481,957,608
長期前払費用	178,630	別途積立金	45,500,000
繰延税金資産	9,416,162	繰越利益剰余金	436,457,608
その他投資等	19,440	純資産合計	506,957,608
資産合計	712,864,585	負債及び純資産合計	712,864,585

# 損益計算書

〔令和 5年4月 1日から  
令和 6年3月31日まで〕

(単位:円)

経常損益の部		
<b>営業損益</b>		
売上高		
完成工事高	736,234,009	
兼業事業売上高	602,500,275	1,338,734,284
売上原価		
完成工事原価	647,136,596	
兼業事業売上原価	530,430,575	1,177,567,171
売上総利益		
完成工事総利益	89,097,413	
兼業事業総利益	72,069,700	161,167,113
販売費及び一般管理費		64,627,192
<b>営業利益</b>		<b>96,539,921</b>
<b>営業外損益</b>		
営業外収益		
受取利息	271,815	
その他営業外収益	529,855	801,670
営業外費用		
支払利息	1,371,868	
その他営業外費用	14,546	1,386,414
<b>経常利益</b>		<b>95,955,177</b>
特別損益の部		
特別利益		0
特別損失		0
税引前当期純利益		<b>95,955,177</b>
法人税・住民税及び事業税	36,789,564	
法人税等調整額	△ 3,542,877	33,246,687
当期純利益		<b>62,708,490</b>

## 株主資本等変動計算書

株式会社 アクセル松山

令和 5年 4月 1日から 令和 6年 3月31日まで

(単位:円)

	株主資本						評価・換算 差額金	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式				株主資本 合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他 利益剰余金					
当期首残高	20,000,000	0	0	5,000,000	438,254,618	0	463,254,618	0	463,254,618	
事業年度中の変動額										
剰余金から準備金への振替						0	0		0	
剰余金の配当					-19,005,500	-19,005,500			-19,005,500	
当期純利益				62,708,490	62,708,490	62,708,490			62,708,490	
事業年度中の変動額合計	0	0	0	0	43,702,990	43,702,990	0	0	43,702,990	
当期末残高	20,000,000	0	0	5,000,000	481,957,608	506,957,608	0	0	506,957,608	

### ■その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位:円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳				その他 利益剰余金 合計
	資本準備金 減少額	自己株式 処分差益	その他 資本剰余金 合計	別途積立金			繰越 利益剰余金	
当期首残高	0	0	0	45,500,000			392,754,618	438,254,618
事業年度中の変動額								0
剰余金から準備金への振替							0	0
剰余金の配当							-19,005,500	-19,005,500
当期純利益							62,708,490	62,708,490
事業年度中の変動額合計	0	0	0	0			43,702,990	43,702,990
当期末残高	0	0	0	45,500,000			436,457,608	481,957,608

# 個別注記表

（ 令和 5年4月 1日から  
令和 6年3月31日まで ）

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金…………… 個別法による原価法

### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…………… 定率法（なお、耐用年数及び残存価額については、法人  
（リース資産を除く） 税法に規定する方法と同一の基準によっている。）

リース資産…………… リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とした定額法  
（所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産）

### (3) 引当金の計上基準

#### 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、法人税法に定める限度額（貸倒実績率）、貸倒懸念債権等の特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### 賞与引当金

将来の支給見込額のうち当期負担額を計上している。

### (4) 収益及び費用の計上基準

原則全ての工事について履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識している。また、履行義務の充足に係る進捗率の見積の方法は、発生原価に基づくインプット法による。

ただし、契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短い工事契約については代替的な取扱いを適用し、一定の期間にわたり収益を認識せず、履行義務を充足した時点で収益を認識している。

### (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### リース取引の処理方法

リース取引開始日が平成 20 年 3 月 31 日以前の所有権移転外ファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

## 2. 貸借対照表に関する注記

有形無形固定資産の減価償却累計額 26,171,682 円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 250 株

(2) 剰余金の配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額(千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
令和5年6月29日 定時株主総会	普通株式	19,005	76,022	令和5年3月31日	令和5年6月29日